

THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH WEEKLY REPORT



東京新南ロータリークラブ週報 October 23, 1987 No. 52

今年度のターゲット (チャールズ C. ケラー)

ロータリアン--奉仕に結束--平和に献身

ROTARIANS--UNITED IN SERVICE--DEDICATED TO PEACE

○ 本日の予定

昭和62年10月23日 (第54回)

ガバナー公式訪問

RI第275 地区西川正次郎がナ-



9:30 ~ 10:20 (白鷺) 会長・幹事との懇談会
10:30 ~ 12:00 (瑞雲) クラブ協議会
12:30 ~ 13:30 (八雲) 卓話 / ガバナーより

ガバナー Profile

大正 2年 9月23日生 (東京) 現住所 / 練馬区石神井町 8-48-16 TEL 997-2945
学 歴 / 昭和11年東京帝国大学経済学部卒業

職 歴

昭和11年 4月 日本勧業銀行入行
昭和44年 2月 取締役副頭取
昭和46年10月 第一勧業銀行取締役副頭取
昭和51年12月 取締役会長
昭和57年 6月 取締役相談役
昭和60年 6月 相談役現在に至る

ロータリー歴

1955年 横浜東ロータリークラブ (チャーターメンバー)
1961年 名古屋ロータリークラブ
1963年 大阪ロータリークラブ
1969年 5月 東京築地ロータリークラブ
(チャーターメンバー)
1978~79年 東京築地ロータリークラブ会長

□ RI 情報抄録から 1987年10月-11月

息抜きに肩の凝らない言葉を

人生にはおかしいことがあります。最高とはいえない
ものを目の前に出され、受け取るのを拒否したとしても、
自分で獲得できるものは、同じ程度のものということが
よくあります。

--ウィリアム・サマセット・モーム
英国の作家



◎先 週 報 告 昭和62年10月16日 (第53回)

卓 話：『ディスクロージャー制度と会計監査』／保森 登君

司 会：田島 一郎 会 長

♪ ロータリーソング：我等の生業

リングリーダー：吉田 用親君

ニコニコBOX 紹介：渡邊 治君

来客紹介：中野 博義君

出席状況	会 員	41 名中	出席	36名	欠席	5名
	来 客	8 名	(都内	7名	地方	1名)

東京中央RCの高橋功氏と高園末雄氏が認証伝達式(12月1日/火)のご案内にお見えになりました

○SAA 委員会報告 次回より例会場は原則として地階八雲の間になります

♣お誕生日 10月16日/安藤大助君 20日/河原勢自君

例会後、親睦活動委員会が開催されました(13:40 ~ 15:00)

□ニコニコボックス(10/16 順不同・敬称略)

高橋 功(東京中央RC) 本日はチャーターナイトの御案内をさせて頂き有難うございます

河原 勢自 本年も無事誕生日を迎えられました 有難うございました

保森 登 へたないインシェーションスピーチを聞いて頂くことになりますので

斉藤 茂之 卓話のテーブル起こしを岩上さんが実に快くお引き受け下さいましたので

中野 博義 旅行無事に終わりました 有難うございます

佐藤 幸雄 親睦会にて当社工場を御見学頂き有難うございました

川鍋 達朗 今度の1泊旅行には日本交通観光バスを使って頂き有難うございました おかげ様で無事終了しホッとしております

親 岩上 好範 みちのく路、工場見学、紅葉と史跡を訪ねて大変有意義でした 有難うございました

睦 楽しい旅行でした/旅行を楽しませて頂きました/皆様お世話になりました等

旅 沖 宏之・勝山 英司・田中 武・丸山 忠典・吉田 用親

行 佐藤幸雄さんの工場見学も大変勉強になりました
佐藤幸雄さんに大変お世話になりました

入沢 頼二・宮本 正祥

二宮 利泰 楽しく有意義な旅行 中野さん初め皆様にお世話になりました
鈴木 重徳 海外出張などの為、マイキャップが多くなりましたので 昨日の旅行楽しかったので

渡辺 治 こんなに楽しい旅行に参加しなかったのは真に残念です

本日の合計 18件 67,000円

それぞれ、多額のご寄附を頂きました 有り難うございます。

○Visitors

東京中央RC	高橋 功・高園 末雄	西村 義毅	新橋RC	吉越 亘
東京 芝RC	柿田 潔			
東京 南RC	浅野 五郎・鬼頭 誠一・鈴木 治己			



秋の親睦旅行の報告／宮本・正祥君

去る10月14日より15日にかけて、新南ロータリークラブの秋の親睦旅行が会員19名、及びご夫人 9名の参加を得て盛況に行われました。旅行は職業奉仕月間中でもあり、銚トーキンの工場見学を主とし、その他に紅葉の蔵王と独眼流正宗の郷土を訪ねると言う盛り沢山の内容で計画されました。

当日は期待に胸をふくらませながら、一同が上野駅に集合。一路東北に向かって驀進する内に間もなく白石蔵王に到着。駅より5分と言う銚トーキン工場では、矢崎工場長の出迎えを受け、会社の概要の説明を受けた後、早速見学開始となりました。清潔で且つ機能的な正方形のレイアウトの工場で生れる素晴らしい製品が、ロボットと繊細な手付の作業員との併用で生み出される所をガラス越しに見て感心し、又日本国内のテレホンカードの80%をこの場所で生産していると教えられ又々感心した次第でした。更に、一同が溜息をついたのは、当工場の「デイリー管理システム」で当日の7 P.M.までにその日の生産量、原価、利益がコンピューターにより計算され、目標と異なった場合は翌日までに対策をたてると言う方式でした。

見学後は、活発な質疑応答がありましたが、「このような熱心なグループは初めてです。さすがはロータリアン」とおほめの言葉を下さった矢崎工場長はご自身も白石ロータリークラブの熱心なメンバーであるとの事。親睦を身上とするロータリアン同志、質疑応答はロータリー談議にも及び予定時刻を30分もオーバーした程でした。

宿泊先の秋保温泉では風呂で寛ろいだ後、一同揃った懇親会が行われました。約2時間で終了した宴会後も、グループに分かれて、会員同志、御婦人同志、或いは合同にての親睦の輪が夜遅くまで続きました。特に御婦人方の話題の豊富さ、バイタリティー、及び結束には一同敬服した次第です。

翌朝は、貸切バスにて蔵王エコーライン、上の山、赤湯、米沢の上杉記念館の順序で見学。中腹では霧がかかっていた山中も頂上付近で快晴となり、視界に入ってくる蔵王の山々の燃える秋にあちこちで歓声が揚がりました。そして14:30、バスは福島駅に到着、一同新幹線にて帰途につきました。

最後に、ご多忙にもかかわらず工場を案内して下さった銚トーキンの矢崎工場長、及び千葉総務部長、又この工場見学を実現させていただいた佐藤幸雄会員のご好意に感謝の意を表し、親睦旅行の報告を終らせていただきます。

◎東京中央R C 認証伝達式のご案内

日 時：12月 1日（火） 開 場：帝国ホテル
登録料：会員 20,000 円 ご同伴者 15,000円
切 切：10月30日（金）までに事務局へお知らせ下さい

公認会計士制度はディスクロージャー制度から誕生しました。そのディスクロージャー制度は企業内容の開示制度という意味で用いられますが、これが我が国に導入されたのは昭和23年に証券取引法が制定されたときであります。御承知のように戦後、占領軍政策が次々と打ち出されましたが、その一つとして財閥解体があり、それに伴いその株式を一般に公開する場合の受け皿が必要となりました。さらに長期的な展望といたしまして日本の自由主義経済の円滑な発展のためには、FairにしてOpenな資本市場が必要、かつ、不可欠と成って参りました。このような資本市場育成のために昭和23年にAmericaのSecurities Exchange Actに範をとって証券取引法が制定された次第であります。

この証券取引法は4つの基本概念を持っております。その

- ①は有価証券を公募する会社は、必要、かつ十分なDisclosureをしなければならない
- ②は、これらの会社は公認会計士の監査を受けなければならない
- ③は、公認会計士は厳正な監査をしなければならない
- ④は、公認会計士が監査する場合にそのよりどころとなる企業会計原則が制定されなければならない

の4つであります。まず1番目のDisclosureにつきましては、新規Disclosureと継続Disclosureとを規定しました。2番目の公認会計士監査につきましては、昭和23年に公認会計士法が出来ました。4番目の企業会計原則は、昭和24年に企業会計審議会により公表されました。このようにして我が国におけるDisuclosur制度の基本方向が確立されました。先に申し述べましたように、公認会計士法は昭和23年に出来ましたが、公認会計士監査が始まったのは、昭和26年のことあります。この時の監査は、初度監査、制度監査といわれるものでありまして、初めは監査日数は44日以内といったように制約の多い監査でありました。

本格的な監査が始まりましたのは昭和32年からのことあります。私は昭和33年頃から上場会社の監査責任者となりました。当時はまだ2部市場はなかったのでありますが、監査ではいろいろと苦勞いたしました。その理由は

- ①特定の優良企業を除きまして、多くの会社はまだ経営基盤が不安定であり
- ②会社の経理に問題が多く
- ③会社側の監査受入体制も十分でなく
- ④会計士側の組織的監査体制が不十分であり
- ⑤世論及び企業経営者は現在ほど粉飾決算について罪悪感を強く持っていなかった

等によるものであります。昭和40年に至りまして不況が到来し、それまで高度成長の波に乗って急激な拡大を続けてきた日本経済がここで一大試練期を迎えます。このとき企業倒産は相次ぎ上場会社では日本特殊鋼、サンウェーブ、日本繊維工業、山陽特殊鋼などに及びました。これらの企業はいずれも決算粉飾の事実がありまして、その経営者は厳しく追及されたことは勿論であります。その監査に当たった公認会計士の監査につきましても世間から厳しい批判が浴びせられました。

（次頁に続く）

かかる批判にこたえて昭和41年に公認会計士法が改正され、監査法人制度が立法化されたわけであります。監査法人は組織的監査を行うのに必要な審理機構や人的、物的施設を有しているかどうかを、大蔵大臣が審査し、その許可を得て法人設立の登記がなされるものであり、監査法人の役員は無限責任社員であります。監査法人の設立第1号は太田哲三会計事務所でありましたが、現在、監査法人の数は90数社であります。規模別に見ますとビッグフォーといわれる4社があってこれらは1000人近い会計士を擁しております。一方、公認会計士が20名以下の小規模法人が60社を上廻っており、その中間の規模の会社が20社余りというところであります。ビッグフォーといわれる法人はここ1、2年の間に大法人同志の合併でアレヨアレヨと言う間に大きくなったものであり、その結果、大、小の2極分化現象となりました。大法人の合併は何故なされたかをみますとこれは自己のクライアントのうちの主要大企業から監査の国際的統一の要求があることにそなえてなされたといつて良いと思われまゝす。

さて、公認会計士の生き方には二つあります。その一つはオーソドックス派というべきものでありまして、具体的にいいますと公認会計士は会計監査のみに集中していればよい。マネージメント・サービスごときのもので主観的な意見を述べ、それに伴う危険な責任を負うべきでないとする立場であります。これに対して、もう一つの立場は業務拡大派ともいふべきものでありまして、公認会計士は監査をして会社の経営数値を知悉し、経営のスミズミまで内容を熟知しているのであるから、これに基づき会計監査とともにマネージメント・サービスを提供すべきである。そして、公認会計士はマネージメント・アドバイザー・サービスが出来る能力を滋養すべきであるという立場でありまして、私は昭和31年開業以来終始この立場を積極的に推進して参りました。

私も監査というものを永年やってきておりますが、これはやればやる程その怖さが身にしみてくるものであります。会社というのはもともと組織の力によりまして、個人では到底出来ないような大きな仕事をやって、社会の進歩に貢献しております。また、もし外敵が侵入しようとしてくる場合は、組織の力で断乎これを拝絶します。また、牽制力により、誤りが未然に防げるようになっていきます。大会社の場合、特にこのようなしくみがうまく出来ているわけですが、案外に落とし穴があって世間の人もアッと驚くようなことが起きます。あれだけの会社で何故このような事故が起きたのかと世間の人の目を見張らせるようなことが日常茶飯事のように発生し、特に最近その傾向が強いのであります。最近、新しい商品や新しいタイプの経済行為がづぎつぎと生み出され、その取引のテンポが早く取引単位も数年前と比べものに成らない程膨張して来ております。又、一方では事業部制とか分社経営等によりまして権限の下部委譲が大幅に行われ、これに伴い社内の内部牽制が弱まって来ています。又、コンピューターの進歩によりデータ及び情報の処理方法がどんどん変わりつつあり、これに対し、公認会計士はシステムを理解し、コントロールをチェックしてゆく必要があります。このような激変の時代に公認会計士は監査に万全を期すべく日夜努力しております。

公認会計士は極めて正直、かつ誠実な高度の専門知識を持った腹心の相談相手として信頼されつつあります。自分で自分が正直だというのはおかしい話であります。公認会計士は本来、その職業的性格がそういうものだということを御理解頂きたいのであります。

(次頁に続く)

企業が何か大きいことをやろうとするときには、税金、会計処理、資産の評価等について極めて複雑な問題が生じ、その準備から実行迄細心の注意を必要とし、こういう場合には公認会計士なしでこうした問題进行处理することは出来ないのがあります。また日本の公認会計士の国際的信用レベルも向上しつつあり、丁度12日より東京において世界会計士会議が開催されつつあります。地道な職業であります、私どもは使命感をもって日夜頑張っておりますので、何卒皆様におかれましても御支援下さいますようお願い申上げる次第であります。以上

○他クラブ例会日時例会場変更のお知らせ

①東京芝ロータリークラブ

10月28日（水）例会 → 10月23日（金）

東京みなとRC認証状伝達式に振り替え

②東京みなとロータリークラブ

10月27日（火）例会 → 10月23日（金）みなとRC認証状伝達式に振り替え

11月7日（火）例会 → 11月12日（金）IGFに振り替え

来週の担当は

受付／宮本 Zaloom 来客紹介／青野 山本 会計／入沢 安藤

ニコニコボックス／吉田 大日方 ソングリーダー／福田

○次週の予定

昭和62年10月30日（第55回）

卓話 『欧州雑感』

渡邊 治君（東京銀行 監査役）

会長／田島一郎 副会長／佐藤定宏 幹事／川鍋達朗 会報／斉藤茂之

東京新南ロータリークラブ

事務所：〒107 東京港区赤坂 2-22-19南部坂アネックス 201号

電話：03-505-5976（ファクシミリは同番で切り替え）